

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名 株式会社東海バス  
 系統名(起点～経由地～終点) 戸田線 (修善寺駅～虹の郷～戸田)  
 計画策定年度 令和4年度 運行期間 R4.10.1～R5.9.30 評価年度 令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(2,555)回 (7.0回/日)	(2,555)回 (7.0回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	52.8%	51.5%	15	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	30,897人	46,262人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(1)箇所 バス停(5)箇所	7	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	41.1	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等)	—	施設名称 伊豆総合高校、戸田中学校、戸田小学校、伊豆赤十字病院、マックスバリュ修善寺駅前店、伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓口、くら戸田	—	—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.90円	6	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				57	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
 B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている  
 C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	<p>修善寺駅と鉄道のない戸田地区を結ぶ重要な路線であり、また、戸田からは土肥温泉あるいは井田方面へ乗り換えることができる幹線系統となっており、高齢化率の高い戸田地区においての地域住民の足の確保が目的となっている。伊豆市と沼津市の境となる「戸田峠」を越える利用は、全体の4割程度となっており、そのうち通勤、通学、通院等を目的とした地元客が9割以上を占めている。また、戸田峠を越えない短距離利用客の内訳は、修善寺温泉や虹の郷へ行く観光利用が多く、通院等の利用は比較的少ない。</p>
増収策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。</li> <li>2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。</li> <li>3. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。</li> <li>4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。</li> <li>5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。</li> <li>6. 下田駅、下田メディカルセンター、石廊崎オーシャンパーク等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。</li> <li>7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。</li> <li>8. 乗車券販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。</li> <li>9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。</li> <li>10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。</li> <li>12. 引き続き、バス停デザインの統一化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。</li> </ol>
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 5年度賃金(人件費)についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。</li> <li>2. エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。</li> <li>3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。</li> </ol>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>拠点: 伊豆箱根鉄道修善寺駅                      バス停: 修善寺駅口、修善寺温泉入口、修善寺温泉、ニュータウン入口、戸田</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>伊豆総合高校、戸田中学校、戸田小学校、伊豆赤十字病院、マックスバリュ修善寺駅前店、伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓口、くら戸田</p>

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名 株式会社東海バス  
 系統名(起点～経由地～終点) 天城峠線 (修善寺駅～天城峠～河津駅)  
 計画策定年度 令和4年度 運行期間 R4.10.1～R5.9.30 評価年度 令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(3,650)回 (10.0回/日)	(3,650)回 (10.0回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	37.9%	49.2%	12	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	121,180人	128,466人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(11)箇所	15	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	40.4	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	施設名称 伊豆総合高校、天城中学校、天城小学校、河津中学校、河津小学校、伊豆赤十字病院、中島病院、伊豆慶友病院、マックスバリュ修善寺駅前店、マックスバリュエクスプレス天城湯ヶ島店、フードストアあおき河津店、マックスバリュエクスプレス河津店、伊豆箱根鉄道線修善寺駅、伊豆市役所、伊豆市天城湯ヶ島支所、河津町役場、伊豆急行線河津駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.90円	6	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				62	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
 B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている  
 C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	<p>当該路線は、伊豆箱根鉄道の修善寺駅から伊豆急行線の河津駅を結ぶ41.7kmの長距離路線で、伊豆半島の南北をつなぐ重要な路線となっている。修善寺から河津へ移動する場合、鉄道では、三島、熱海、伊東をぐるっと回らなければならないところを直接つないでおり、伊豆市と河津町の境となる「天城峠」を越える観光利用や旧修善寺町と旧湯ヶ島町を跨いで利用する通学、通院、買い物足のとしての運行が目的である。</p> <p>「天城峠」および旧修善寺町と旧湯ヶ島町を跨いで利用されている利用者は、全体の40.4%となっている。</p>
増収策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。</li> <li>2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。</li> <li>3. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。</li> <li>4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。</li> <li>5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。</li> <li>6. 下田駅、下田メディカルセンター、石廊崎オーシャンパーク等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。</li> <li>7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。</li> <li>8. 乗車券販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。</li> <li>9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。</li> <li>10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。</li> <li>12. 引き続き、バス停デザインの統一化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。</li> </ol>
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 5年度賃金(人件費)についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。</li> <li>2. エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。</li> <li>3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。</li> </ol>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>拠点: 伊豆箱根鉄道線修善寺駅、伊豆急行線河津駅                      バス停: 修善寺駅口、修善寺温泉入口、畑入口、柿木橋、天城小学校、出口、吉奈温泉口、弘道寺入口、湯ヶ島温泉口、二階滝、峰温泉</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>伊豆総合高校、天城中学校、天城小学校、河津中学校、河津小学校、伊豆赤十字病院、中島病院、伊豆慶友病院、マックスバリュ修善寺駅前店、マックスバリュエクスプレス天城湯ヶ島店、フードストアあおき河津店、マックスバリュエクスプレス河津店、伊豆箱根鉄道線修善寺駅、伊豆市役所、伊豆市 天城湯ヶ島支所、河津町役場、伊豆急行線河津駅</p>

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名 株式会社東海バス  
 系統名(起点～経由地～終点) 西海岸線 (修善寺駅～土肥温泉～松崎)  
 計画策定年度 令和4年度 運行期間 R4.10.1～R5.9.30 評価年度 令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(4,992)回 (13.6回/日)	(4,992)回 (13.6回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	42.7%	45.9%	12	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	126,241人	117,633人	0	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(7)箇所	11	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	66.6	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	施設名称 伊豆総合高校、伊豆総合高校土肥分校、松崎高校、天城小学校、土肥小中一貫校、西伊豆中学校、賀茂小学校、松崎小学校、伊豆赤十字病院、中島医院、西伊豆病院、石田病院、マックスパリュ修善寺駅前店、マックスパリュエクスプレス天城湯ヶ島店、マックスパリュエクスプレス土肥店、フードストアあおき西伊豆店、伊豆市役所、伊豆市役所土肥支所、西伊豆町役場、松崎町役場、伊豆箱根鉄道線修善寺駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.90円	6	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				52	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
 B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている  
 C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	<p>当該路線は、鉄道のない西伊豆地区の住民にとって、通勤、通学、通院、買い物等の生活の足として重要な役割を担っているだけでなく、三島、修善寺方面から土肥温泉・堂ヶ島・松崎への観光客の移動手段等も目的として運行しており、欠かすことの出来ない路線となっている。</p> <p>市町を跨ぐ利用は、全体の約7割と非常に高く、また1人平均乗車キロも令和5年度実績で19.3キロと長距離になっている等、地域間幹線系統としての役割を果たしている路線となっている。</p>
増収策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。</li> <li>2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。</li> <li>3. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。</li> <li>4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。</li> <li>5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。</li> <li>6. 下田駅、下田メディカルセンター、石廊崎オーシャンパーク等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。</li> <li>7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。</li> <li>8. 乗車券販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。</li> <li>9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。</li> <li>10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。</li> <li>12. 引き続き、バス停デザインの統一化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。</li> </ol>
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 5年度賃金(人件費)についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。</li> <li>2. エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。</li> <li>3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。</li> </ol>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>拠点: 伊豆箱根鉄道修善寺駅、松崎                      バス停: 修善寺駅口、修善寺温泉入口、畑入口、柿木橋、出口、宇久須、浜橋</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>伊豆総合高校、伊豆総合高校土肥分校、松崎高校、天城小学校、土肥小中一貫校、西伊豆中学校、賀茂小学校、松崎小学校、伊豆赤十字病院、中島医院、西伊豆病院、石田病院、マックスバリュ修善寺駅前店、マックスバリュエクスプレス天城湯ヶ島店、マックスバリュエクスプレス土肥店、フードストアあおき西伊豆店、伊豆市役所、伊豆市役所土肥支所、西伊豆町役場、松崎町役場、伊豆箱根鉄道線修善寺駅</p>